

ごあいさつ



山梨県テニス協会 会長

望月 政男

第34回関東実業団対抗テニスリーグ戦が、ここ山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園テニスコートで開催されますことは、主管県といたしまして誠に光栄であり、皆様方の御来場、御来県を心から歓迎申し上げます。

本年は、元号が平成から、令和へと変更された年であります。また、来年はいよいよ「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。

新たな時代の動きの中で、日本のテニス界は錦織選手と大坂選手の世界トップレベルでの活躍、さらには先般日本人で初めてウインブルドンジュニアシングルスで望月慎太郎選手が優勝するなど飛躍的にレベルアップしていることから、県民のテニスへの期待と関心は、ますます高まりをみせており、このような中、社会人最高レベルの日本リーグに繋がる本大会が山梨県で開催されますことは、大変意義深いことと考えております。

さて、山梨県は「果樹王国やまなし」と言われており、ぶどうや桃の生産量は日本一です。また、ワイン、ミネラルウォーターの生産量も日本一であります。選手の皆様には美味しい果物を食べ、爽やかなワイン、ミネラルウォーターを飲んでいただき、日頃培われた力と技を遺憾なく発揮され、全国大会を目指してハイレベルの試合が展開されることを期待しております。また、この機会を通して親睦を深め、交流の輪が広がることを願っております。

本大会の開催に当たり、関東テニス協会をはじめ関係各位の御支援、御協力にたいし、心から感謝の意を表しますとともに、代表実業団チーム選手皆様のご健闘と大会の盛会を祈念し歓迎の言葉といたします。